



関前防災会キャラクター「せきまえ」

せきまえ防災

■せきまえ防災の11号発行にあたり

3. 11の東日本大震災以降、武蔵野市では市内の各地域に応じた共助を強化させる防災組織の設立支援をしてきました。関前地区では、地域の団体、学校、医師等に呼び掛けを行い、話し合いを重ねて2012年11月に関前地区全域を対象エリアとする「関前防災会」が設立されました。市内には13の避難所運営組織があり活動をしておりますが、関前防災会は関前地区の避難所運営組織となります。本誌「せきまえ防災」は、2020年7月に第1号を発行し、関前の皆さんに地域に根ざした防災情報を直接発信して参りました。初号発行から3年以上経過して一部情報が古くなってきたこともあり、11号からは発行済みの各号の内容の見直しをして発行をいたします。1号をお持ちの方は本号と比較し、市が発行しております「防災ハンドブック」と一緒に保管し、発災時にお役立てくださいますようお願いいたします。

関前地区とは

人口・世帯数・高齢化率 2024.2.1 市統計資料より

丁目	世帯数	人口	男	女	高齢化率
1丁目	242	479	236	243	31.3%
2丁目	1,194	2,462	1,237	1,225	21.3%
3丁目	1,507	3,295	1,622	1,673	16.2%
4丁目	771	1,570	773	797	25.0%
5丁目	929	1,686	817	869	25.8%

高齢化率：65歳以上の構成比率

武蔵野市の地震被害推定値

東京都は東日本大震災を踏まえ策定した「首都直下地震等による東京の被害想定」を10年ぶりに見直しを行い2022年に以下の公表をしました。想定する地震は多摩東部直下地震(冬・夕、風速8m/秒)で、武蔵野市内の75.2%で震度6強が想定され、市内の被害は以下のように試算されています。死者数60人、負傷者数934人(うち重症者数144人)

関前地区の地震に関する地域危険度測定調査結果 (2022年9月公表)推定値

丁目	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難係数	総合危険度		
	危険量(棟/ha)	順位	ランク	危険量(棟/ha)	順位	ランク		危険量(棟/ha)	順位	ランク
1丁目	0.25	4,666	1	0.03	3,617	1	0.20	0.06	4,468	1
2丁目	0.95	3,432	1	0.08	2,645	2	0.14	0.14	3,664	1
3丁目	0.71	3,919	1	0.03	3,606	1	0.10	0.08	4,285	1
4丁目	1.13	3,052	1	0.06	2,910	1	0.14	0.16	3,472	1
5丁目	1.15	2,981	1	0.10	2,434	2	0.14	0.17	3401	1

関前地区の地盤は河成礫層の上に関東ローム層が堆積した台地で比較的安定した地域に分類される。

上記表は都内の市街化区域5,192町丁目内での危険な順位であり関前地区は東京都の中では危険性が低い地域となっております。

■建物倒壊危険度は地盤増幅率×建物量×建物特性で導かれ1ha当たりの倒壊率は0.25~1.15となっております。

地盤増幅率：地盤の強さを表す数値(低いほど良い)

危険性が低い ← → 危険性が高い



■火災危険度は火災の発生による延焼の危険性

■災害時活動困難係数は活動有効空間不足率×道路ネットワーク密度不足率でいずれも公園や道路幅員等の空間密度が関係している。火災危険度で一部に2があるものの総合危険度ではいずれも1である。